

## (参考)

### ◎ 愛知県茶商工業協同組合の概要

本組合は、愛知県内の茶商工業者で構成される協同組合で、明治17年に設立され、今年131周年を迎えます。

毎年、お茶まつり等のイベントの共催やお茶の入れ方教室等を開催するほか、新茶販促ラジオ宣伝等を行い、茶の消費拡大及び茶業振興を図る行事を実施しています。

#### ○構成会員

(株)葵製茶、(株)南山園、(株)升半茶店、(株)ミドリ(茶縁)始め76会員。

### ◎ あいちの抹茶：【主な産地：西尾市、豊田市等】

#### 1 生産の状況

本県のでん茶の生産量は、平成25年が479トンで、全国シェアは21.4%と京都府、静岡県に次いで全国3番目となっています。(表1)

#### 2 消費・需要の状況：

一人当たりの茶類の消費量は、昭和60年頃までは他の飲料との競合により減少傾向が続いていましたが、ペットボトルの普及や緑茶のダイエット効果などの機能・効果が見直され、一時的に増加したものの、平成16年以降は再び減少しています。

一方、アメリカ、ヨーロッパを中心に健康志向や和食への関心が高まり、日本からの輸出が伸びています。

#### 3 評価

てん茶の生産量が近年増加してきた静岡県は、てん茶生産量の9割近くが3番茶以降の茶葉を使っていますが、本県のでん茶は、生産量の約7割が一番茶で生産されており、品質の高いことが特徴です。しかしながら、全国的な知名度では京都府に及ばず、ブランド力の強化に取り組んでいます。

#### 4 本県産抹茶の特徴

ア 茶葉の栄養状態が良好な一番茶(春になり最初に出た新芽)の割合が高いことから、高品質です。(表1)。

イ 茶葉を摘む際に手摘みの割合が高く、手作業で新芽を分別収穫するため、高品質です。

表1 平成25年産てん茶生産量 (単位:ha、t)

府県名	栽培面積	計			
		一番茶	二番茶	その他	
京都府	1,580	402	356	12	770
静岡県	18,300	72	0	575	647
愛知県	587	320	159	0	479
三重県	3,150	80	10	117	207
奈良県	733	64	61	0	125
福岡県	1,570	31	0	0	31

※：栽培面積は、煎茶等を含めた全茶種類の合計値。

出典：農林水産統計、全国茶生産団体連合会調査

#### (加工用抹茶市場の動向)

品質の高い一番茶\*の生産量は、京都府に次いで愛知県が多い。  
近年、煎茶産地が煎茶の3番茶以後を抹茶用に転換してくる新規参入が増え、競争が激化している。

\*一番茶は、アミノ酸(うま味成分)のうち最も量が多いテアニンの量が二番茶に比べ3~6倍多い。